

「横浜の公共交通活性化をめざす会」 活動報告



路線バス実証実験の視察の様子

別の掲示物で隠れるピクトサイン

「横浜の公共交通活性化をめざす会」では、電車やバスを利用する際のわかりやすい案内表示についてなど、横浜のあらゆる公共交通に関する視察を随時行っています。

少し前になりますが、2月13日(土)に当時泉区の緑園地区で行われていた路線バス実証実験の視察を行いました。この実験は住民からの要望で行われた緑園都市駅周辺の周回延長運行で、乗車方法の異なる相鉄バス(前のり・先払い)と神奈中(中のり・後払い)が共に参加したため、併せて乗車方法に関するピクトサインの掲出実験も行われました。運行方法がわかりにくいせいか利用客は少なく、ピクトサインもわかりにくいものでした。デザインもさることながら、別の掲示で隠れるなど掲示場所にも問題がありそうでした。参加者は8名で、視察後意見交換を行いました。

このようなサインは事業者間で統一したものでないと意味がなく、この件に限らず乗車方法、運賃体系など、利便性確保には改めて各事業者間の横の連携が必要だと思いました。

今後も折に触れ幅広く視察を行い、提言などしていきたいと思います。(報告：廣瀬哲哉)

今年も横浜カーフリーデーに参加します

9月22日(祝・木)に横浜スタジアムと日本大通りで開催される横浜カーフリーデーに参加します。小規模ですが、パネル展示をします。

カーフリーデーとは、EUのプロジェクトの一つとして毎年9月22日に開催される「クルマのない日」のことで、都心部ではバスやタクシーなどの公共交通以外の自動車利用を中止して、クルマのない日を体験します。このカーフリーデーの前後1週間はモビリティウィークとして都市交通に関する社会実験などが行われています。横浜では、2004年に当会が環境やまちづくりをしている団体によびかけて、横浜カーフリーデーが始まりました。

2011年からはNPO法人横浜カーフリーデー実行委員会が主催しています。

今年は、モビリティウィークに交通に関するシンポジウム開催を横浜市モビリティマネジメント推進部に当会から提案し、9月24日に開催されることになりました。当会からモビリティマネジメント推進部会委員となっている松川が市民代表のパネリストとして参加します。

(報告：松川由実)

<入会のお誘い>

私たちの活動に賛同し、いっしょに活動できる方、ご支援頂ける方の参加をお待ちしています。

年会費	正会員(個人)	10,000円
	団体賛助会員	30,000円
	個人賛助会員(サポーター会員)	1,000円
(正会員は総会の議決権を持ちます。)		

<理事会日程>

当会では毎月定例で理事会を開催しています。会員以外でもオブザーバー参加大歓迎です。当日参加もOKですが、資料を用意するので事前に連絡をいただくと助かります。

会場はかながわ県民センター(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)です。

9月7日(水)601号室、10月5日(水)603号室、11月1日(火)702号室。時間は19:00～21:30

編集 後記

2016年夏のフォーラムこそ走らせる会活動の重要な節目であったと将来語られることになるのではないかと森口氏が紹介する先進的な都市交通の実情が国際都市を目指す横浜市の進むべき方向を指し示していた。オリンピックが近いので高度化バスを導入するが将来はLRTとのベストミックスも展望したい、LRTの魅力が優れていることがわかっているにもかかわらず、横浜市役所の中ではいまだコンセンサスが形成されていないようで頼りない。導入する高度化バスの専用車線にデザインの優れた停留所とストリートファニチャーを配置し車線をLRTに明け渡していただけるならば、横浜の全ての区でのLRT導入検討の曙となるだろう。(古川洋)